

Management 2

持続可能で未来につなげる

- 施策3 健全な財政運営に努めます
- 施策4 公共施設の適切な維持管理に努めます
- 施策5 情報通信技術（ICT）を積極的に利活用します
- 施策6 適切な情報発信を行います
- 施策7 市民との協働を進めます



施策 3

健全な財政運営に努めます

現状と課題

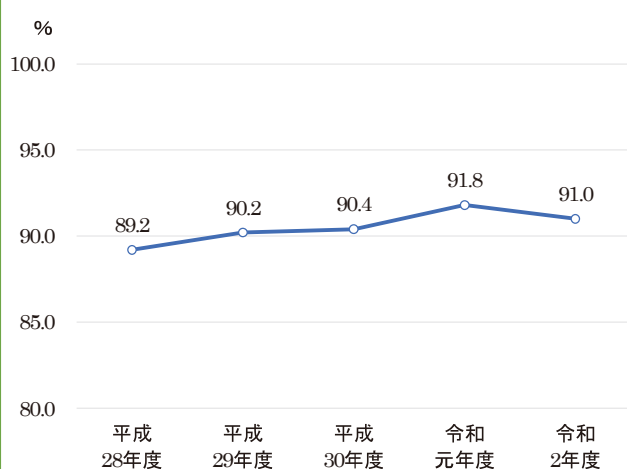
【現状】

- わが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響や国際状況の変化を受け、未だ先行きが不透明です。
- 本市においては、市税など歳入の大幅な増は見込めない一方で、扶助費・公債費の増、インフラ資産を含む公共施設の老朽化に伴う更新・維持管理経費の増などにより、財政の自由度は決して高くはありません。
- 子育て支援など行政に求められるサービス内容は多様化し、需要も増大しているほか、中核市として求められる役割と責任も増大しています。

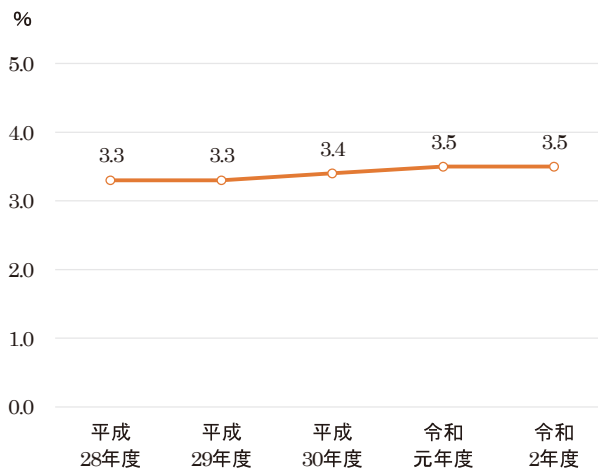
【課題】

- 社会状況の変動にも耐え得る財政運営を可能とするため、行政サービスの効率化、民間委託による行政のスリム化、行政財産や職員の能力の有効活用を行う必要があります。
- 「見える化」による行政活動の透明性を高める努力も必要です。
- 災害の頻発化・激甚化、公共施設の老朽化に伴う更新などに備えるため、基金残高を確保する必要があります。

■ 経常収支比率



■ 実質公債費比率（3か年平均）



資料：一宮市

関連するSDGs



事業展開の方向性

●計画的、効率的な財政運営

行政評価事業、行政改革推進事業

●財源の安定確保

地方創生推進事業、滞納整理事業、納税啓発事業

●財政状況の分析・開示

財務書類4表作成分析事業、健全化判断比率等作成分析事業

成果指標

指標名	基準値	目標値
①経常収支比率	91.0%	91.0%
②実質公債費比率(3か年平均)	3.5%	3.5%
③市税徴収率	97.5%	98.0%

市民の体感指標

指標名	基準値
健全な財政運営に努めていると思う人の割合	10.8%

※各指標の算出方法は110から115ページを参照

関連する個別計画

○一宮市行財政改革大綱

市民が考えた

「私たちにできること」



○収支など市の財政状況を知る

用語説明

- 扶助費：社会福祉制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して行う支援に要する経費のこと。（例）児童手当・生活保護費
- 公債費：借入金の元金や利息を支払う経費のこと。
- 経常収支比率：市税や普通交付税など経常的に収入される一般財源（使途が特定されない収入）のうち、人件費、扶助費、公債費など経常的な支出に充てた額が占める比率のこと。高いほど財政構造の柔軟性が低いとされる。
- 実質公債費比率：公債費やそれに準ずるものが、市の標準財政規模（標準的に収入が見込まれる一般財源の額）に占める比率のこと。

施策 4

公共施設の適切な維持管理に努めます

現状と課題

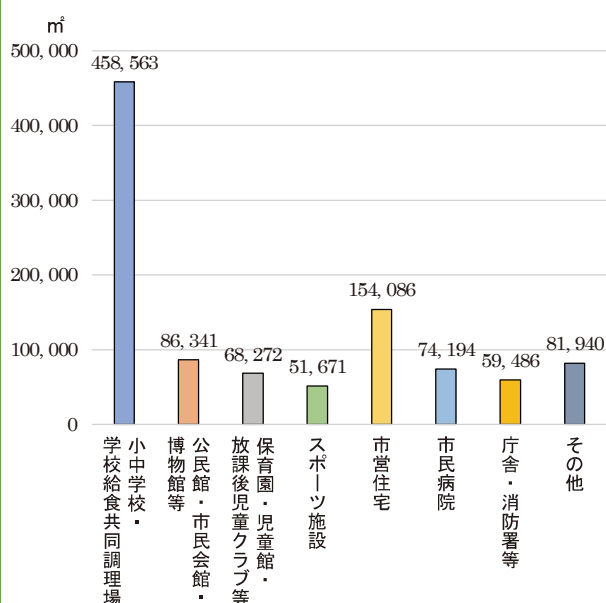
【現状】

- 昭和50年代に建設した公共施設が数多くあり、更新すべき時期が来ています。
- 旧一宮市、旧尾西市および旧木曽川町の合併により、機能が重複する施設があります。
- 保有する公共施設などの状況と、その更新費用と財源の見込みから、公共施設の基本的な方向性を示す「一宮市公共施設等総合管理計画」を平成28年11月に策定（令和4年3月改定）しました。また、この計画に基づいて、公共建築物の個別施設計画にあたる「施設のあり方計画」を令和3年3月に策定しました。

【課題】

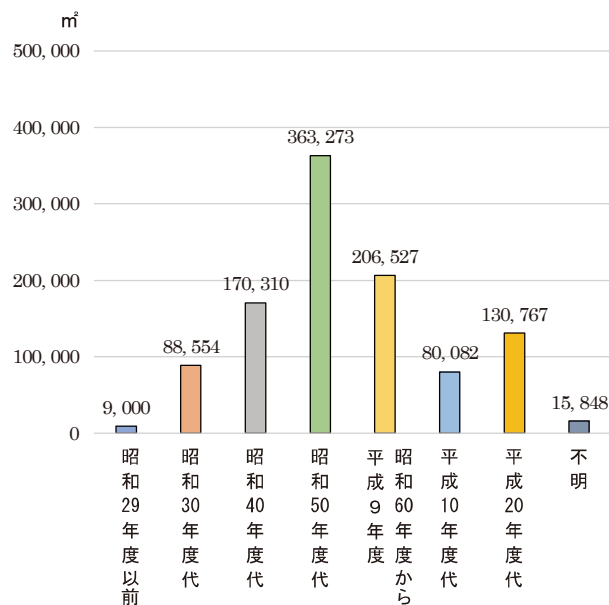
- 人口減少に伴う税収入の減が見込まれるなか、一時期に多く建設された公共施設が一度に更新時期を迎えるため、更新費用の財源が十分に確保できないおそれがあります。
- 高齢者の増加に伴う扶助費の増加により、公共施設の維持更新に必要な財源が更に圧迫されることが予想されます。

■施設区分別の延べ床面積



資料：一宮市
(令和3年4月1日現在)

■建築年度別の延べ床面積



資料：一宮市
(平成28年4月1日現在)

関連するSDGs



事業展開の方向性

- **公共施設の長寿命化対策の推進**
公共施設等総合管理計画進捗管理事業
- **大規模修繕や建替えの計画的な実施**
公共施設等総合管理計画進捗管理事業
- **統廃合や複合化による施設総量の縮減**
公共施設等総合管理計画進捗管理事業

成果指標

指標名	基準値	目標値
①公共建築物（企業会計を除く）の延べ床面積縮減率	0.0%	0.9%

市民の体感指標

指標名	基準値
公共施設が適切に管理されていると思う人の割合	40.0%

※各指標の算出方法は110から115ページを参照

関連する個別計画

- 一宮市公共施設等総合管理計画
- 施設のあり方計画
(公共建築物の個別施設計画)

市民が考えた

「私たちにできること」



- 公共施設を大切に使用しよう心がける

用語説明

- 公共施設
ここでは、建物をはじめ、道路やごみ処理施設などの社会基盤にかかる資産も含む市が所有・管理する全ての施設のことをいう。
- 公共建築物
公共施設のうち、社会基盤に係る資産を除いた建物をいう。

施策 5

情報通信技術（ICT）を積極的に利活用します

現状と課題

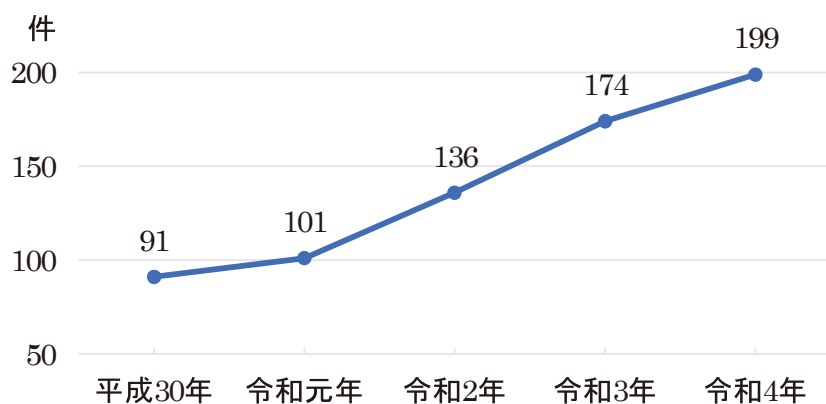
【現状】

- 令和3年12月24日にデジタル社会の形成に関する重点計画・情報システム整備計画・官民データ活用推進基本計画が公表され、デジタル社会の実現に向けた基本的な施策が示されました。
- 自治体においては、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAIなどの活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくことが求められています。

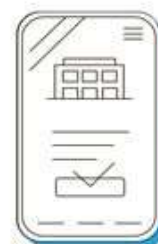
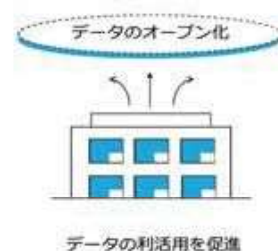
【課題】

- 行政手続のオンライン化に関しては、令和4年度末を目指して、主に住民がマイナンバーカードを用いて申請を行うことが想定される31の手続について、マイナポータルからオンライン手続を可能にすることが求められています。さらに、それ以外の行政手続についても、積極的にオンライン化を進める必要があります。
- 行政保有データを利用者が活用しやすい形でオープンデータとして公開するために、利用価値の高いデータを積極的に公開するとともに、機械判読性を考慮し、CSVなどの構造化しやすいデータフォーマットでの公開を進める必要があります。

■オープンデータ公開件数



資料：一宮市（各年4月現在）



行政手続のオンライン化

関連するSDGs



事業展開の方向性

●ICTを活用した行政サービスの推進

フリーWi-Fi(無料公衆無線LAN)サービス拡大事業、テレビ電話による通訳サービス事業、マイナポータル事業、収納方法拡大推進事業、子育て支援サイト・アプリ運用事業、公金納付方法の多様化対応事業

●オープンデータによる市民等との協働

利活用のできるオープンデータ公開事業、大学・民間企業との協働事業

成果指標

指標名	基準値	目標値
①オープンデータ公開件数	199件	250件
②電子申請で受け付けた手続数	300件	350件
③キャッシュレス決済を利用した税の納付件数	35,000件	36,000件

市民の体感指標

指標名	基準値
一宮市のインターネット関連のサービスが充実していると思う人の割合	23.7%

※各指標の算出方法は110から115ページを参照

関連する個別計画

- 一宮市官民データ活用推進計画

用語説明

- オープンデータ
インターネットなどを通じて、誰でも自由に入手し利活用できるデータのこと。
- マイナポータル
マイナンバー制度を利用して、行政手続がワンストップででき、行政からのお知らせが自動的に届くなどのオンラインサービスのこと。

市民が考えた

「私たちにできること」



- 公開されたデータを活用する
- セキュリティに気をつけてサービスを利用する

施策 6

適切な情報発信を行います

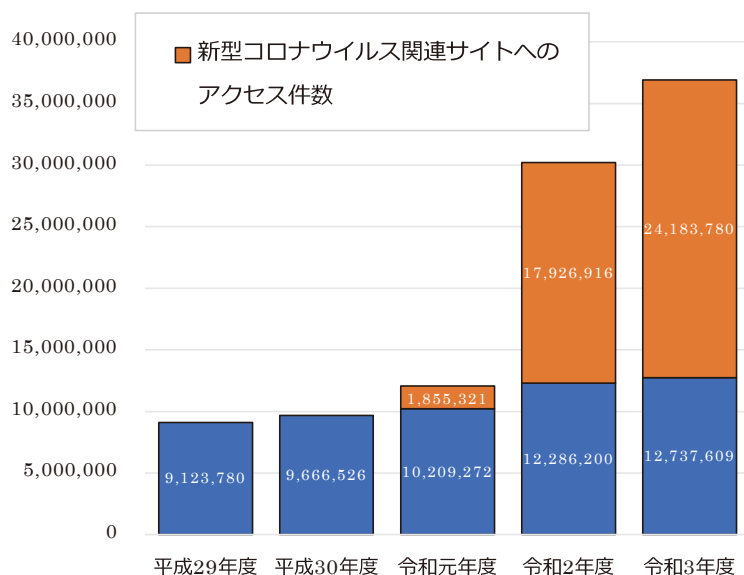
現状と課題

【現状】

- スマートフォン・タブレット端末でのインターネット利用が普及しているため、ウェブサイトなどで積極的に市政情報を発信しています。
- 令和2年度以降、市公式ウェブサイトのアクセス件数は増加しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開設した特設サイトへのアクセス件数が著しく増加しています。
- 近年、行政に対する信頼を高めるため、説明責任を果たすことが求められています。

【課題】

- 広報紙やウェブサイト、SNSなどの様々な媒体を活用し、多様化する市民ニーズに合った情報発信の仕組みづくりを進め、市政への関心をより高める広報活動が求められます。
- 行政保有データを利用者が活用しやすい形でオープンデータとして公開するために、利用価値の高いデータを積極的に公開するとともに、機械判読性を考慮し、CSVなどの構造化しやすいデータフォーマットでの公開を進める必要があります。



資料：一宮市



一宮市公式SNS（ツイッター）

関連するSDGs



事業展開の方向性

●適切で説明責任を果たす情報発信の推進

ウェブサイト等の運営事業、各種広報媒体の活用事業、SNSによる情報発信事業、市資料コーナー事業、行政文書の情報公開事業

●知りたい行政情報を入手できる環境整備の推進

利活用のできるオープンデータ公開事業、行政文書の情報公開事業

成果指標

指標名	基準値	目標値
①市公式ウェブサイトのアクセス件数 ※新型コロナウイルス関連サイトへのアクセス件数を除く	12,737,609件	15,300,000件
②オープンデータ公開件数	199件	250件

市民の体感指標

指標名	基準値
市からの情報を適切に入手できていると思う人の割合	51.0%

※各指標の算出方法は110から115ページを参照

関連する個別計画

- 一宮市官民データ活用推進計画

市民が考えた

「私たちにできること」



- 市政に関心を持つ
- 市の情報をSNSで拡散する

用語説明

- オープンデータ
インターネットなどを通じて、誰でも自由に入手し利活用できるデータのこと。
- SNS (Social Networking Serviceの略)
フェイスブックやツイッターなどのインターネットを活用したコミュニケーション手段のこと。

施策 7

市民との協働を進めます

現状と課題

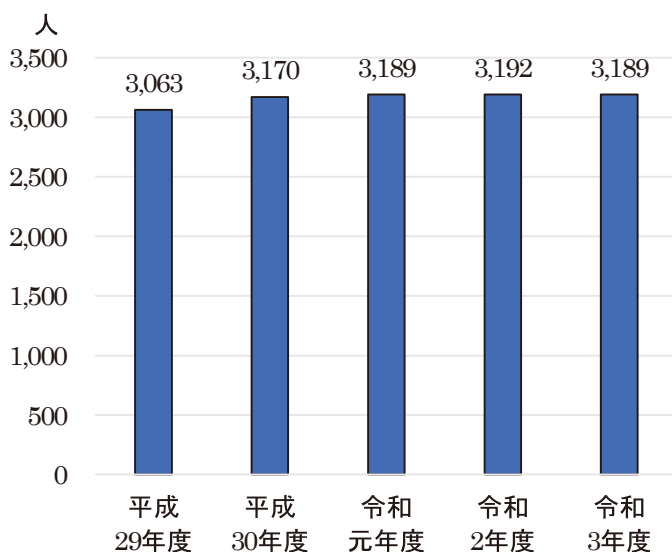
【現状】

- 価値観やライフスタイルの変化とともに、市民ニーズや地域課題が多様化・複雑化しており、行政だけでは対応が困難になってきています。
- 人口減少や少子高齢化の進行、市民の意識の変化などから、地域活動への参加者の減少やまちづくりの担い手不足、高齢化が問題となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人が集まる地域活動が制限され、地域のつながりの希薄化が危惧されます。
- 一宮市SDGsパートナー制度により、官民が一体となってSDGsを推進しています。

【課題】

- 協働の取組を推進していくためには、情報共有が前提となります。市政への関心を深めてもらうために、ウェブサイトやSNSなどを効果的に活用して情報提供をしていく必要があります。
- 市民活動団体が取り組む地域課題も時代の変化とともに多様化しており、各団体の実情を踏まえた活動支援や新たな担い手、活動グループの育成が求められます。
- さまざまな地域課題を解決し、住みよいまちを実現するためには、市民、地域、NPO、企業、大学など多様な主体との協働を一層推進していく必要があります。

■ アダプトプログラムの登録者数



資料：一宮市（各年度末現在）

関連するSDGs



事業展開の方向性

●協働意識の醸成

まちづくり子ども出前事業、市民向け講習会開催事業

●まちづくりに関する情報共有

ウェブサイト等の運営事業

●まちづくり活動への支援

市民活動支援センター運営事業、地域づくり協議会推進事業、市民活動サポート補助金事業

●市政への参加の仕組みづくり

市民意見提出制度運用事業、無作為選出による市民参加制度運用事業、産学官連携事業、SDGs推進事業、アダプトプログラム推進事業

成果指標

指標名	基準値	目標値
①無作為選出制度における名簿登録者の割合	7.5%	8.0%
②「一宮市SDGsパートナー制度」を通じた官民連携事業数	1件	6件

市民の体感指標

指標名	基準値
市民と市が協力してまちづくりに取り組んでいると思う人の割合	23.7%

※各指標の算出方法は110から115ページを参照

用語説明

○協働

さまざまな人や組織がお互いの特性を活かしながら、「地域の課題を解決する」「より良い公共サービスを提供する」という共通の目的のために、共に考え、協力しながら取り組んでいくこと。

○SNS（Social Networking Serviceの略）

フェイスブックやツイッターなどのインターネットを活用したコミュニケーション手段のこと。

○アダプトプログラム

ボランティアの市民・団体などが里親となり、道路、公園などを、自らの養子とみなして定期的に清掃活動や美化活動などを行い、面倒を見るやり方のこと。「アダプト」とは養子縁組の意。

市民が考えた

「私たちにできること」



- 一宮市を良くするためにどうすればいいのか一人一人が考える
- 市のいろいろな部署に足を運び、横のつながりを刺激する

◆ 第7次一宮市総合計画後期基本計画とSDGsのゴール ◆

	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
Plan 1 健やかにいきる						
1 健康寿命の長いまちづくりに取り組みます		●	●	●	●	
2 安心して子育てができる環境をつくります	●		●	●	●	
3 適切な医療を受けられる体制を整えます			●	●	●	
4 高齢者が安心していきいきと暮らせるよう支援します			●		●	
5 障害者福祉の充実を図ります	●		●	●	●	
Plan 2 快適にくらす						
6 ごみを適正に処理し資源のリサイクルを推進します				●		
7 地球温暖化防止に取り組みます			●	●		
8 環境教育を推進します			●	●		●
9 水と緑を活かしたまちをつくります		●	●	●		●
10 良好な生活環境を確保します		●	●			●
11 総合的な住宅対策に取り組みます	●					
12 公共交通網の整備を進めます						
13 歩行者や自転車が安全に通行できる交通環境を整備します			●	●		
Plan 3 安全・安心を高める						
14 災害に強い社会基盤整備を進めます		●	●	●		●
15 自主防災力の向上を図ります						
16 火災や救急に対する体制の強化を進めます			●		●	
17 交通事故を減らす取組を進めます			●			
18 防犯対策を進めます						
Plan 4 活力を生みだす						
19 既存産業や次世代産業の育成を支援します				●		
20 意欲を持って働けるよう就労支援を進めます						
21 女性の活躍できる環境をつくります			●	●	●	
22 魅力があり持続的発展性のある農業を支援します		●	●	●	●	
23 幹線道路の整備を進めます			●			
Plan 5 未来の人財を育てる						
24 子どもから青少年まで健全に育つ環境をつくります			●			
25 学校教育施設を整備します				●		
26 特色ある教育活動を実施します				●		
27 する・みる・ささえるスポーツ活動を支援します			●		●	
28 歴史・文化に親しめる環境を整えます				●	●	●
Management 1 人を呼び込む ～シティプロモーション～						
1 子育て世代に選ばれるまちをつくります				●	●	
2 訪れてみたいまち、交流が盛んなまちをつくります						●
Management 2 持続可能で未来につなげる						
3 健全な財政運営に努めます						
4 公共施設の適切な維持管理に努めます						
5 情報通信技術（ICT）を積極的に利活用します			●	●		
6 適切な情報発信を行います						
7 市民との協働を進めます						

